



あぶくま福祉会

ひびき

令和3年 5月号

発行 / 社会福祉法人あぶくま福祉会 生活介護事業所 **だての郷**

〒960-0657 伊達市保原町字中瀬町 100 TEL024-576-7799 FAX024-576-7815

5月の主な行事

- 5月 8日(土) 土曜利用日
- 10日(月) ~13日(木)
ミニドライブ週間
- 14日(金) 報奨金支給日
- 17日(月) ジュース購入日
- 26日(水) 誕生会
- 27日(木) ダンス教室

5月生まれの皆さん

お誕生日おめでとうございます

八巻研二さん(5月 9日) 鈴木芳彦さん(5月 11日)
井田裕矢さん(5月 22日) 本間正志さん(5月 24日)
皆さん、おめでとうございます! 5月26日に誕生会
を行います。お楽しみに。

ミニドライブで花見楽しむ!



花桃の前でハイポーズ



桜の下で小休止

新年度がスタートし、4月のミニドライブは、好天に恵まれ予定どおり4月5日から8日までの四日間、班ごとに2グループに分かれて福島市飯坂学習センターの桜と花桃を見に出かけました。各グループとも、満開の花桃白ピンク赤色とりどりのモモが咲き誇っている間の歩道を歩き、お花見を楽しみました。今年度もミニドライブは、週間行事として原則月の第2週目の4日間に、伊達市はじめ福島市、伊達郡内の観光地に出かけることにしています。



ブランコ乗りを楽しむ利用者さん



花桃の前でハイポーズ



満開の花の小径を散歩する利用者さん(写真左右)



職員の声

学んだことを振り返る



だての郷
支援員 岡崎 容子

若葉の美しい季節、皆様方におかれましては、ますますご清栄のことと存じます。

私は日々、だての郷支援員として利用者さんと関わっていて、ふと、介護福祉士として学んだことをいかせているのか、とても不安になることがあります。そこでひさしぶりにテキストを紐解いてみました。

そこには、言語コミュニケーションと、非言語コミュニケーションについて書かれてありました。昔から「目は口ほどに物を言う」と言われていますが、「目は口以上に物を言う」のが現実ではないでしょうか。言葉でどんなにいいつくろっても、身体のどこかが本心を伝えるのです。身体言語学者によりますと、ひとは自分の本当の気持ちを言語では7%ほどしか表現しない。残りの93%のうち、声の調子が38%、顔の表情、姿勢、ジェスチャーが55%であるといっています。

自分の伝えたいことが、利用者さんに伝わっているのだろうか。人間は、話すこと以外のさまざまな手段によってもコミュニケーションを行うことができます。その手段として、支援する人が支援される人の言葉を聞き取ることに集中し慣れること。傾聴の心で聞き取ること。傾聴とは、心を傾けて聴くということ。最も基本的で大切な姿勢であることが書かれてありました。

はっと我に返り、これからの自分に、いつも心がけていこうと反省、姿勢を正していきたいと改めて思いました。支援することに悩んだら、またテキストを紐解いてみようと思います。そして、学んだことを忘れずにこれからも利用者さんの支援をしていきたいと思っています。

3月生まれの皆さんの 誕生日を祝う！



誕生日を迎えた菅野隆仁さん



誕生日を迎えた三浦沙紀さん

3月24日に、3月生まれの利用者菅野隆仁さんと三浦沙紀さんの誕生会を行いました。みんなで♪ハッピーバースデーを歌い、二人を祝ってチョコスフレをいただきました。誕生者のみなさん、おめでとうございます。

今回で令和2年度利用者全員の誕生会をお祝いしたことになります。皆さんおめでとうございます。新年度も誕生会を行います。お楽しみに！



誕生者を祝って、みんなでチョコスフレをいただきました

つばさの会役員決定！！



だての郷の利用者さんの自治会組織である「つばさの会」の今年の役員と、施設内生活班のリーダーが決まりました。1年間よろしく申し上げます。

(写真右から)

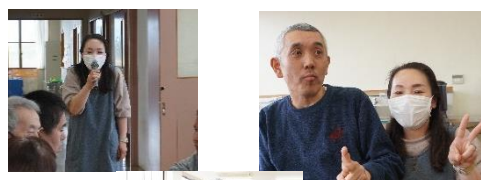
会長 尾崎隆信さん
副会長 渡辺祥江さん
書記 八巻研二さん

活動班の班長・副班長も決定！！



班長 本間正志さん
副班長 大槻美里さん

酒井支援員とのお別れ会開く



利用者さんにお別れの言葉を述べる酒井さん



酒井さんにお別れをする利用者さんたち、

だての郷 酒井陽子支援員が、本年3月31日付けをもって退職しました。3月25日に酒井さんとお別れ会が行われ、利用者さんたちに見送られながらだての郷を去って行かれました。在職いただいた3年間、ありがとうございました。今後のご活躍をお祈り申し上げます。



班長 佐藤実さん
副班長 浅野恵美さん

相談支援事業所 よつば

開所しました



テープカットをする吉田理事長（中央）、
中木よつば管理者（左）と木村相談員（右）

4月1日、かねてから準備を進めてまいりましたあぶくま福祉会4番目の拠点事業所「相談支援事業所 よつば」が、だての郷事務室東側スペースにオープンいたしました。

地域の障がい者の皆様の身近な相談施設として、どなたからも親しまれる事業所を目指し、相談支援専門員有資格者の木村千賀子職員を相談員として配置し、相談事業を行ってまいります。どうぞよろしくをお願いいたします。



お気軽にご相談ください



着任あいさつ



相談支援事業所 **よつば**

相談支援専門員 木村千賀子

4月から「相談支援事業所 よつば」の相談支援専門員として勤務することになりました、木村千賀子です。

相談支援事業所とは、日常生活や社会生活を営む上で、困ったことやわからないことがあった場合に、相談することができる場所です。

相談支援専門員は、障がいのあるご本人やご家族が、必要とする支援を適切に受け取ることができるようにサポートします。利用者みなさんと支援サービスを提供する事業所をつなぎ、中立的な立場で支援に携わっていきます。

利用者みなさんが、自分らしく楽しく活動できるようにお手伝いさせていただきます。今後ともよろしくをお願いいたします。

相談支援事業所 よつば

(だての郷事務室内)

月から金 8:30-17:00

電話 024-597-6039

FAX 024-576-7815

永年勤続職員表彰行う



吉田理事長から表彰状を受け取る栗田事務主任

令和3年度の事業開始にあたり、4月1日法人職員永年勤続表彰式を行いました。法人職員表彰規定により30年勤続職員を表彰するもので、ほどはら授産所事務主任 栗田園美さんに吉田理事長から表彰と記念品が手渡されました。

表彰式は職員辞令交付式に先立ち行われ、出席者全員でお祝いしました。

編集後記 /今年のゴールデンウィークも、昨年同様、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、それぞれの環境下、ご自宅で静かに過ごすようになるものと思います。我慢していくしかないのが現状ですね。▼さて、今年度あぶくま福祉会では4番目の拠点事業所「相談支援事業所よつば」を立ち上げました。職員一同初心者マークが背中についております。どうぞよろしくお願い申し上げます。開所準備にあたり伊達市役所はじめ、市内先発相談事業所の皆様にはいろいろとご助言・ご指導いただきました。この紙面を借り御礼申し上げます。ありがとうございました。▼飯坂学習センターの花桃は見ごたえがありました。来年は是非ご家族でご覧になってください。▼今号から「だての郷通信ひびき」を中瀬町町内会の皆さんに、伊達市の広報配達日に合わせて全戸配布いたします。どうぞよろしくお願い申し上げます。(M)